

環境活動レポート

発行 2015 年 6 月 22 日

対象期間 2014 年 5 月～2015 年 4 月

株式会社丸久 龍江工場

| | |
|-------------------------------|--------------------------|
| 作成 | 承認 |
| ② 技術支援課課長 15.6.22 佐藤 | ② 社長 15.6.22 松本 |

目次

1. 環境方針
2. 組織・事業の概要、対象範囲
3. 環境への負荷実績
4. 環境目標と実績
5. 主要な環境活動の計画
6. 環境活動取り組み結果の評価
7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環 境 方 針

当社はプリント基板の組立てにかかわる事業活動を行っていることを踏まえ環境問題への対応を重要課題の一つと認識し、環境との調和に配慮した事業活動を推進します。

本環境方針を達成するために以下の環境活動を実施します。

1. 環境経営システムの継続的改善を推進し、地球環境の保護と環境汚染の予防を図る。
2. 環境基本法をはじめとする環境関連法を順守し、環境保全活動に取り組む。
3. 利害関係者からの環境についての要望は誠意を持って対応する。
4. 事業活動が環境に与える影響の中で、下記の項目を重点課題として取り組む。
 - ① 不良ゼロへの活動に取り組む。
 - ② 地球温暖化防止対応として二酸化炭素排出量の削減に取り組む。
 - ③ 資源の有効活用として水道水の節水管理に取り組む。
5. 環境方針は全従業員及び当社で働く外部の人に周知し環境保全活動を推進する。

2014年7月1日

株式会社 丸久

代表取締役社長 松本 昇明



2. 組織・事業の概要、対象範囲

- ・ 事業所名 : 株式会社 丸久龍江工場
- ・ 代表者 : 代表取締役・社長 松本 昇明
- ・ 所在地 : 〒399-2221 長野県飯田市龍江 5602
- ・ 環境管理責任者 : 佐藤 和秀
- ・ 連絡先 : T E L : 0265-28-7123
- ・ 事業活動内容 : プリント基板実装品、電気制御ユニット及び関連製品の製造
- ・ 事業規模

| 活動規模 | 単位 | ‘13年 | ‘14年 |
|-------------------|----------------|-----------|-----------|
| 主要製品生産量 | 台 | 3,452,862 | 2,295,723 |
| 売上高 | 百万円 | 489 | 292 |
| 従業員 (パート、アルバイト含む) | 人 | 95 | 83 |
| 床面積 | m ² | 5,212 | 5,212 |

3. 環境への負荷実績

2013年、2014年度の環境負荷実績をまとめた。

主なものは、総エネルギー投入量（購入電力、化石燃料）、水資源投入量（上水）

温室効果ガス排出量、廃棄物等排出量、廃棄物最終処分量、総排水量で下記の表の通りです。

| | | 単位 | '13年 | '14年 |
|----------------------|--------------|--------------------|------------|-----------|
| ① 総エネルギー投入量 | 購入電力 | MJ | 10,208,907 | 9,424,139 |
| | 化石燃料 | MJ | 1,089,035 | 1,026,057 |
| | 新エネルギー | MJ | | |
| | その他 | MJ | | |
| ② 総物質投入量 | 資源投入量 | t | | |
| | 循環資源投入量 | t | | |
| ③ 水資源投入量 | 上水 | m ³ | 1,429 | 1,267 |
| | 工業用水 | m ³ | | |
| | 地下水 | m ³ | | |
| 【④ 温室効果ガス排出量】 | 【二酸化炭素】 | Kg-CO ₂ | 560,850 | 491,819 |
| | | Kg-CO ₂ | | |
| | | kg-CO ₂ | | |
| ⑤ 化学物質排出量・移動量 | 大気への排出量 | t | 13.04 | 9.80 |
| | 公共用水域への排出 | t | | |
| | 土壌への排出 | t | | |
| ⑥ 総製品生産量又は 総製品販売量 | 製品生産量 | 台 | 3,452,862 | 2,295,723 |
| | 環境負荷低減に資する製品 | t | | |
| | 容器包装使用量 | t | | |
| 【⑦ 廃棄物等総排出量】 | 再使用 | m ³ | | |
| | 再生利用 | m ³ | 0 | 0 |
| | 熱回収 | m ³ | | |
| | 単純焼却 | m ³ | | |
| | その他 | m ³ | | |
| ⑧ 廃棄物最終処分量 | 最終処分量 | m ³ | 6.5 | 5.5 |
| 【⑨ 総排水量】 | 公共用水域 | m ³ | 1,429 | 1,267 |
| | 下水道 | m ³ | | |
| | BOD | g | | |

・二酸化炭素排出量は購入電力が90%を占めているので、購入電力に絞り取組みました。

・廃棄物等排出量は微量ですがリサイクルに取組みました。

・総排水量はすべて水道水ですので、水道水の節水に取組みました。

4. 環境目標と実績

当社は、下記の表のように15年度の目標を掲げて環境活動に取り組んで来ました。

目標項目は工程内不良率の低減、電力使用量の削減、廃棄物の削減、水道水の節水です。

| No. | 環境目標指標 | 2014年度環境目標 | 2014年度実績 |
|-----|----------------------|--------------------------------|-----------------------------------|
| ① | 「不良ゼロ」活動 工程内不良率削減 | 全体不良率 0.03%以下 自責不良率 0.01%以下 | 設備、検査機要因含め 0.07% 自責の不良率は 0.01% |
| ② | 二酸化炭素排出量 | 監視項目 | 491,819kg-co ² /年 |
| ③ | 電力使用量 | 監視項目 | 958,712kWh |
| ④ | 水道水の節水管理 | 監視項目 | 1,267m ³ /年 |
| ⑤ | 廃棄物排出量 | 監視項目 | 5.5m ³ /年 |

* 二酸化炭素排出量の90%が購入電力のため、電力使用量の削減に取り組みました。

* 総排水量はすべて水道水です。

* 購入電力の二酸化炭素排出係数は0.518kg-co²/kWh(中部電力2012年実績)にて計算

5. 主要な環境活動の計画

| No. | 2015年度 環境目標 | 実施内容 | 責任者 | 担当者 |
|--------------|--|---|---------------|-------|
| ① | 全体社内不良率 上期 0.05%以下 下期 0.03%以下 自責不良率 上期 0.01%以下 下期 0.01%以下 | ・物造りのルール(標準書類)を守る | 各製造課長 | 製造担当者 |
| | | ・従業員に作業教育を実施する | 各製造課長 | 製造担当者 |
| | | ・顧客関連部門と協力し、不具合項目をつぶす | 製造部長 各製造課長 | 製造担当者 |
| | | ・品質情報の掲示 | 品質管理課 | |
| | | ・全体朝礼での説明の実施 | 社長 各部長 | |
| ② | 二酸化炭素排出量 | ・全環境活動を通じて二酸化炭素排出量を削減する | 各課長 | 担当者 |
| ③ | 電力使用量 | ・不要な電源のOFF (人のいないときは電灯の消灯、使用しない設備の電源を切る) | 各課長 | 担当者 |
| | | ・点滅回路の見直しと施工の実施 | 各部長 | 各製造課長 |
| | | ・エアコンの設定温度の順守 | 各課長 | 担当者 |
| | | ・エアー漏れの改善 | 各製造課長 | 製造担当者 |
| | | ・エアコン、コンプレッサーの管理 (フィルターの清掃、定期点検の実施) | 各製造課長 | 製造担当者 |
| | | ・電力使用量のグラフ化による啓蒙活動 | 環境管理責任者 | |
| | | ・エコアイスの活用 | 各部長 | 各製造課長 |
| ・ガスヒートポンプの活用 | 各部長 | 各製造課長 | | |
| ④ | 水道水の節水 | ・水道水の節水に対する呼びかけの実施 | 環境管理責任者 | |
| ⑤ | 廃棄物排出量 | ・工程内不良率を削減することにより廃棄物を減量化する | 各製造課長 | 製造担当者 |

6. 環境活動取り組み結果の評価

| No. | 2014年度環境目標 | 2014年度実績 | 評価 |
|-----|---|-----------------------------------|----|
| ① | 工程内全体不良率 0.03%/月以下 自責不良率 0.01%/月以下 | 全体不良率 0.07% 自責の不良率 0.01% | × |
| ② | 二酸化炭素排出量 | 491,819kg-co ² /年 | — |
| ③ | 電力使用量 | 958,712kWh | — |
| ④ | 水道使用量 | 1,267m ³ /年 | — |
| ⑤ | 廃棄物排出量 | 5.5m ³ /年 | — |

年間のまとめ

工程内不良率は、年度途中で特性検査不良が多く発生する月がありました。

自責不良率については、マガジンラックの転倒による不良が突発的に発生しましたがその他は概ね0.01%から0.02%で推移していました。

次年度の取組内容

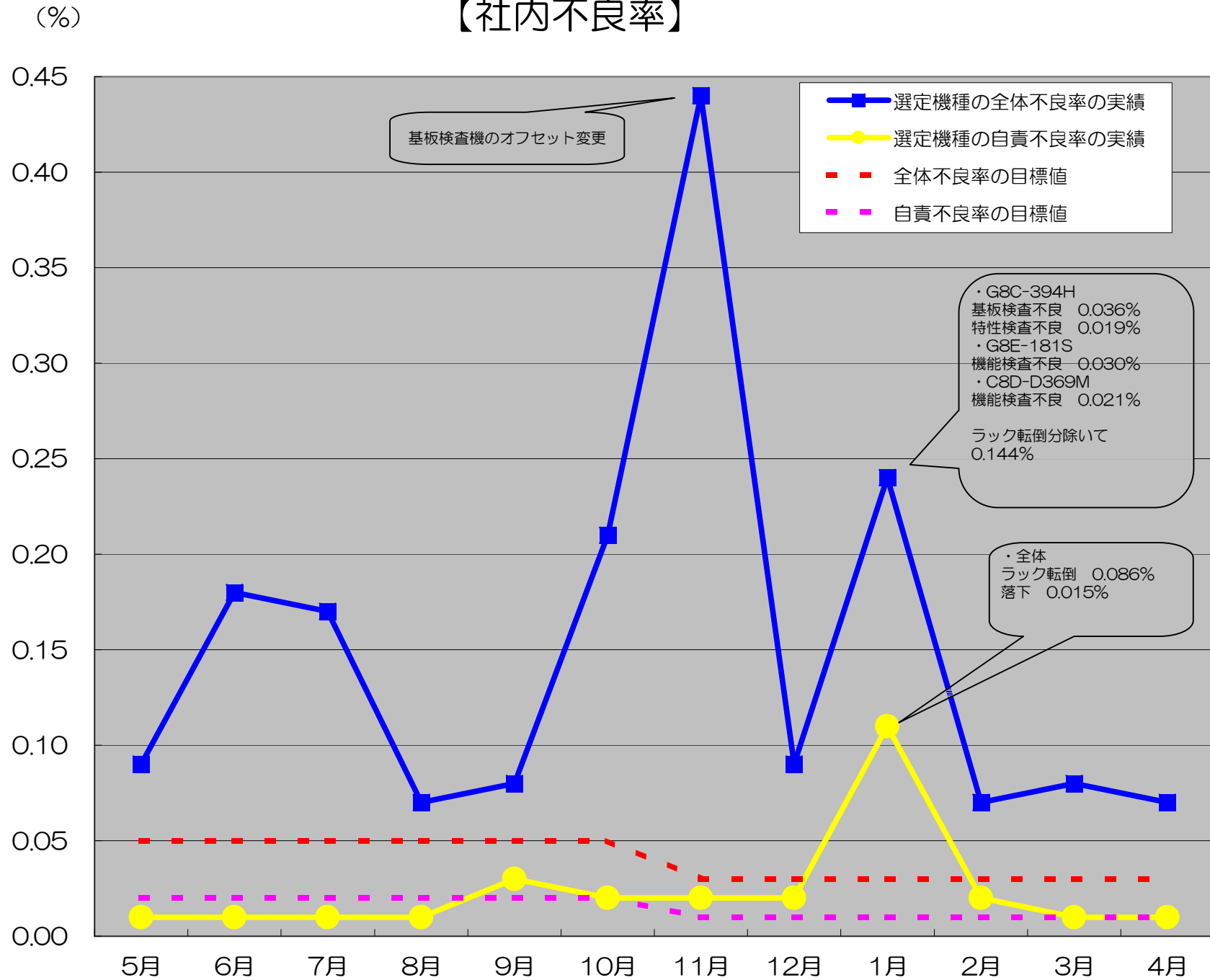
前年度の取組を引き続き実施しますが、環境単独の指標(電力使用量等)については、生産実績に影響され管理が困難であるところから、目標値とせず監視項目とし毎月の値を確認して行きます。

7. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

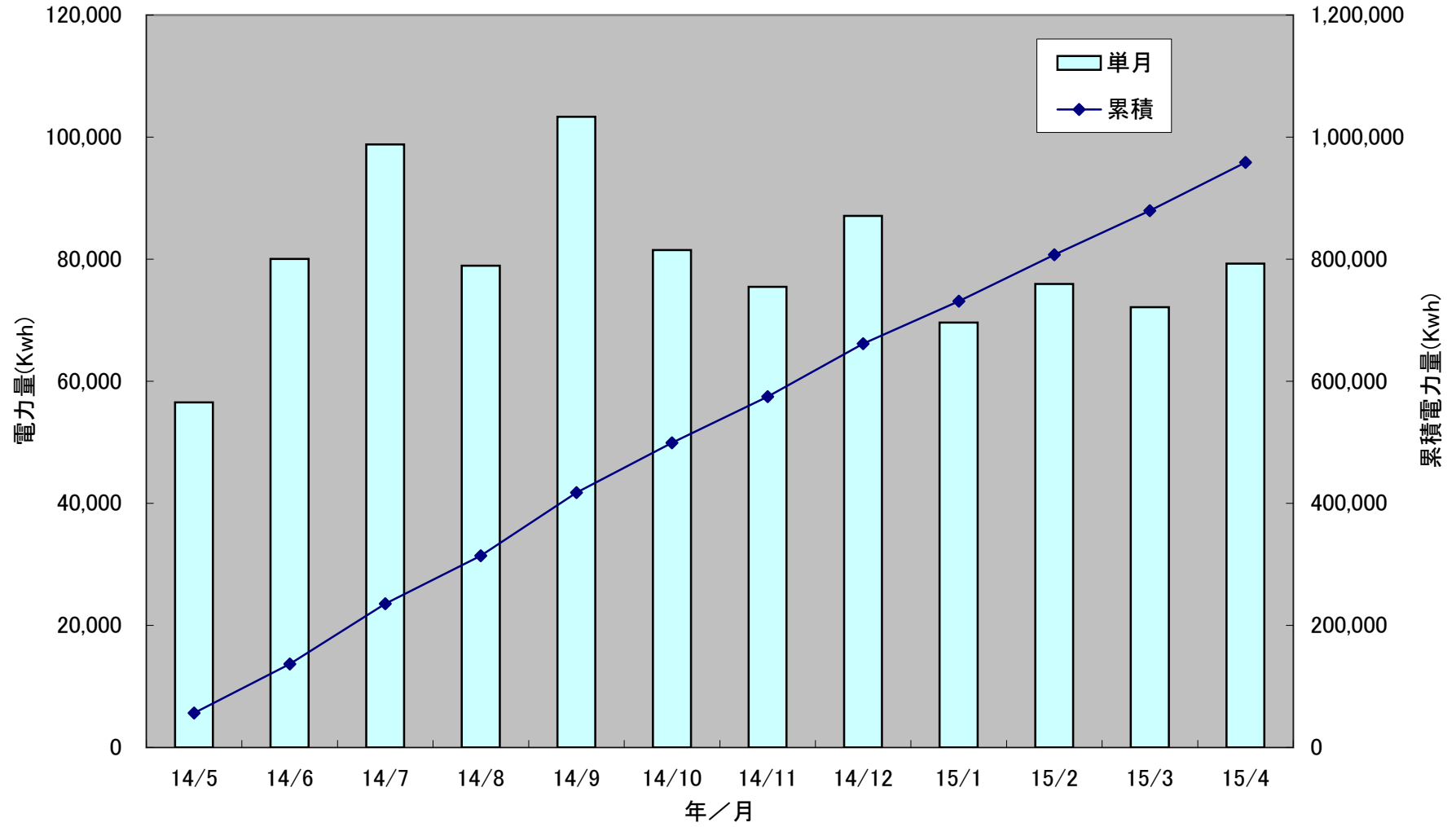
| 分類 | 法令の名称 | 適用内容 | 順守評価の記録 |
|-------|--|---|--|
| 環境 | 環境基本法 (平成24年6月27日) | 環境に関する最上位の法律 | |
| 環境一般 | 工場立地法 (平成23年12月14日) | ・工場新設、変更届け、環境施設が敷地面積の25%以上 ・緑地面積が敷地面積の20%以上 | ・緑地面積は、30%以上あり問題なし。 |
| 廃棄物 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (平成24年8月1日) | ・産業廃棄物の種類及び保管場所の表示 ・施設の名所、 ・保管産廃の種類 ・管理者名、 ・連絡先電話番号 | ・施設の名所、表示あり。 ・保管産廃の種類、表示あり。 ・管理者名、表示あり。 ・連絡先電話番号、表示あり。 |
| | | ・書面による委託契約 ・許認可書 ・マニフェストの発行・発行状況の届出 | ・委託契約書あり。・許認可書あり。 ・マニフェスト発行。・発行状況の届出 平成26年6月 |
| リサイクル | 改正フロン回収破壊法 (平成25年6月12日) | ・業務用エアコンのフロンの回収 <改正>・回収、運搬、破壊に要する料金の支払い。・回収依頼書又は委託確認書の交付・取引証明書 | ・当該実務なし。 |
| リサイクル | 特定家庭用機器再商品化法 (平成23年6月24日) | ・特定家電品の適正な引渡し（小売業者へ引渡す）及び費用の負担 | ・当該実務なし。 |
| リサイクル | 自動車リサイクル法 (平成25年6月12日) | ・新車の購入時又は車検時のリサイクル料金の納付 | ・社用車は、全てリサイクル料金の納付済み。 |
| 化学物質等 | 労働安全衛生法 (平成23年6月24日) 有機溶剤中毒予防規則 (平成24年4月2日) | ・有機溶剤作業主任者の選任 ・作業環境測定 1回/6ヶ月 ・特殊健康診断の実施・強制換気の実施 | ・有機溶剤作業主任：佐藤和秀、 原 賢治 ・作業環境測定は、中部公衆医学研究所にて実施。 ・特殊健康診断実施の診断書あり。 ・強制換気は、ダクトファンにて対応。 |
| 化学物質等 | 消防法 (平成24年6月27日) | ・第4類 危険物 | 指定数量 |
| | | 第1石油類 非水溶性 | 200L |
| | | 第1石油類 水溶性 | 400L |
| | | 指定数量を超える保管の場合、危険物貯蔵庫の設置 | |
| 化学物質等 | PRTR法 (平成20年11月21日) | ・量の調査と県への届出（毎年6月） | ・平成26年5月届出。 |
| 水質汚濁 | 浄化槽法(平成25年6月14日) | ・業者による浄化槽の保守点検 ・毎年1回水質検査 | ・第一公害プラント株式会社で実施。 |
| 大気汚染 | 大気汚染防止法 (平成25年6月21日) | ・自動車の排気ガス規制（車検の実施） | ・車検実施済み。 |
| 高圧ガス | 高圧ガス保安法 (平成25年6月14日) | ・都道府県知事への届出 ・定期保安検査 ・自主検査 | ・届出書を確認 ・地方事務所による検査実施 ・高圧ガス設備定期自主検査報告書を確認 (平成26.12.月付) ・液化窒素 CE 設備日常点検記録表を確認 |
| 高周波 | 電波法 (平成25年6月12日) | ・総合通信局への届出 | ・届出済み |

環境管理責任者が2014年12月4日現在の法規制等遵守状況を確認したところ、環境関連法規に違反、訴訟が無いことを確認しました。又、過去において行政・近隣等からの環境関連法規の指摘訴訟はありませんでした。

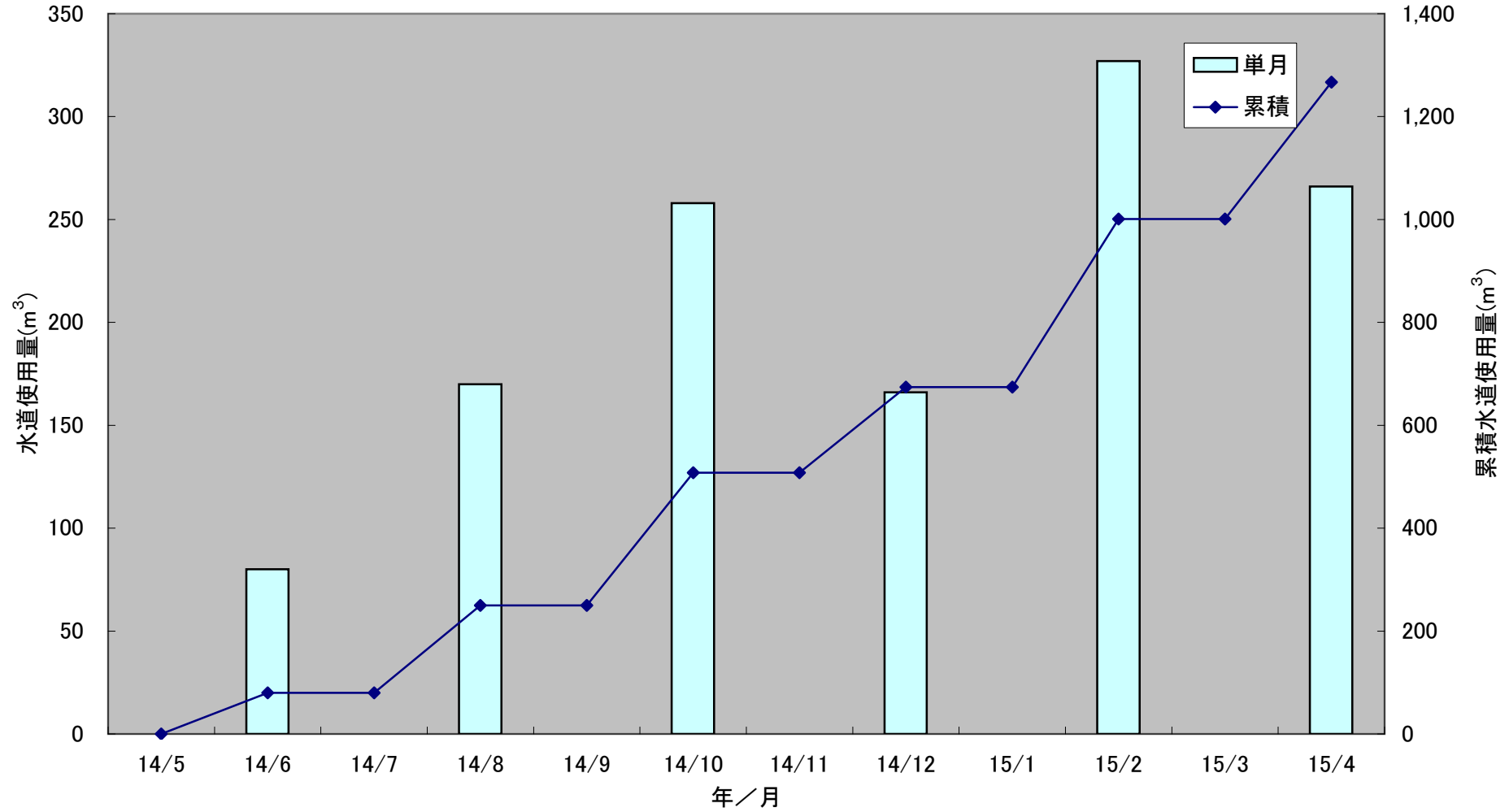
【社内不良率】



14年度年間使用電力量

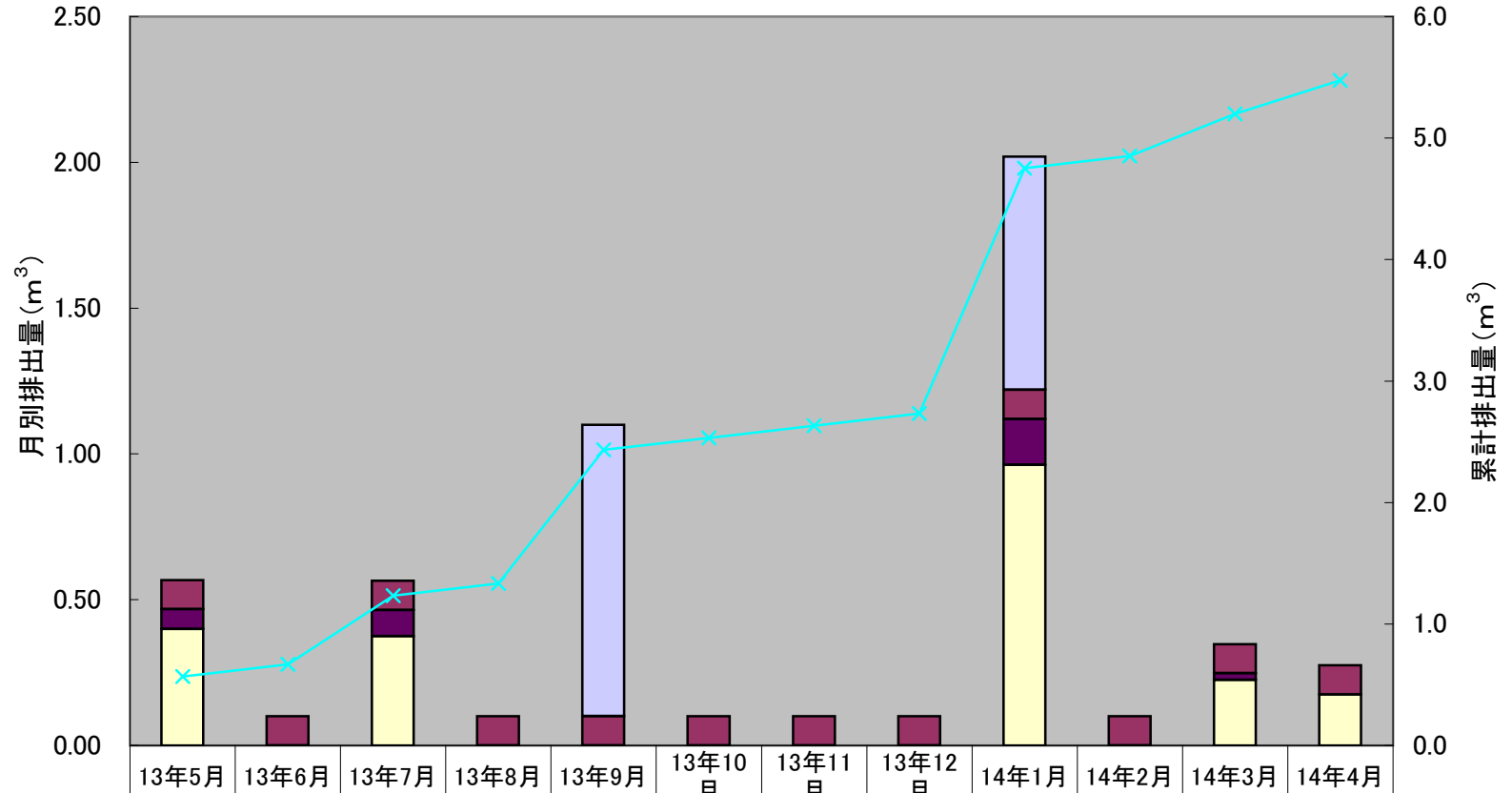


14年度年間水道使用量



14年度廃棄物排出量

- 廃プラ(押出成型)
- 廃ガラス(管理型埋め立て)
- 廃プラ(焼却)
- 引火性廃油(焼却)
- 引火性廃油(混錬)
- ×— 累計



| | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|--------|-------|
| ■ 廃プラ(押出成型) | | | | | 1 | | | | 0.8 | | | |
| ■ 廃ガラス(管理型埋め立て) | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 |
| ■ 廃プラ(焼却) | | | | | | | | | | | | |
| ■ 引火性廃油(焼却) | 0.0675 | 0 | 0.09 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.1575 | 0 | 0.0225 | 0 |
| ■ 引火性廃油(混錬) | 0.4 | 0 | 0.375 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.9625 | 0 | 0.225 | 0.175 |
| —×— 累計 | 0.6 | 0.7 | 1.2 | 1.3 | 2.4 | 2.5 | 2.6 | 2.7 | 4.8 | 4.9 | 5.2 | 5.5 |

14年度太陽光発電量

